



## 反弾圧の闘いを共に!

### 鈴木宗男元議員「仮釈放」に喜び

JR総連とJR東労組は12月6日、栃木県「喜連川社会復帰促進センター」から仮釈放された新党大地代表・鈴木宗男元議員を出迎えた。「帰りを祝う会」がおこなわれた参議院議員会館には、国会議員・秘書、支援者ら約300人が集まった。鈴木元議員は「1年ぶりに自由な空気を吸うことができた。受刑生活は修養の日々と思っている。この経験を今後、生かしたい」などと述べた。



「美世志会」・上原代表、小黑氏、大潤氏と固い握手を交す鈴木元議員



鈴木元議員には、検察の「シナリオ」による受託収賄や政治資金規正法などの四つの「事件」で罪が着せられた。これに対し裁判所は真相究明を果たさず、懲役2年、追徴金1100万円の判決を命じた。さらに最高裁は2010年9月に上告を棄却。異議申し立ても退け、鈴木元議員は昨年12月6日に収監された。

仮釈放後、記者会見をおこなった鈴木元議員は特捜検察の捜査手法を改めて批判。真相解明という裁判所の役割にも疑問を呈し、取り調べの全面可視化の必要性を訴えた。服役中の東日本大震災遭遇には「私以上に頑張っている被災者がいる。勇気を教えられた」と涙ぐみ、「被災者のためにできることをしたい。政治は弱い人のためにあるという新党大地の原点を忘れないように努め、責任を果たす」「全国の政治を必要としている人の声を受け止

めながら、私の立場で精いっぱい汗を流していきたい」と述べた。続けて「足利事件や布川事件などのえん罪事件や、検察の証拠捏造が明らかになっている。裁判で推認が通れば全て犯罪者にされてしまう。えん罪事件や事件を捏造する悪しき権力と断固闘う。私はあきらめない。真実を明らかにするために頑張る」と、政治活動を続ける決意と再審請求への意欲も示した。

「祝う会」には、民主党・小沢一郎元代表や鳩山由紀夫元首相ら国会議員98人や作家の佐藤優氏らが出席。留守をあずかった新党大地・浅野代表代行の苦闘にねぎらいの言葉がかけられ、浅野議員は涙を浮かべた。

JR総連は「おかえりなさい」と書いた横断幕を会場に掲げ、鈴木元議員を激励した。弾圧に抗し、人権・民主主義を守る闘いを、これからもともに闘う。